

決議第2号

第60号議案 令和8年度佐賀市一般会計補正予算（第2号）

（産業建設委員会付託分）に対する附帯決議 案

本議案の審査の結果、予算執行等に当たって、次の意見等を付すので、対応されるよう求める。

1 次世代交通実証事業

本事業の目的である、自動運転技術の活用によるバス路線の維持・確保や運転士不足への対応は重要な課題であり、その取組の意義は理解するところである。しかしながら、本事業の試算では自動運転バス実装以降、年間約1,030万円の収支不足が見込まれており、示された財源確保策については、その積算根拠が不明確で実現性に乏しい。加えて、事業効果として示された経済波及効果及びスケールメリットによる支出抑制効果についても、具体的な試算根拠が十分に示されていない状況である。

また、自動運転技術の導入に当たっては、運用体制や事故発生時の対応等について、市民の理解と信頼を得るための十分な説明が不可欠である。

このことから、以下の事項についての対応を求める。

- (1) 自動運転バスの運行に当たっては、安全性の確保を最優先とし、実証運行における検証結果や事故防止対策、緊急時対応体制等について十分な検証を行うとともに、市民に対し分かりやすい情報提供に努めること。
- (2) 本事業の推進にあたっては、収支均衡を図るため、財源確保に努めること。
- (3) 自動運転バスの複数台導入による経費削減額等を算定し、スケールメリットによる支出抑制に努めること。
- (4) 事業の検討状況、検討結果について、適時議会へ報告を行うこと。

以上、決議する。

令和 年 月 日

佐賀市議会

佐賀市長 宛

以上、決議案を提出する。

令和8年6月30日

提出者 産業建設委員会
委員長 黒田 利人

佐賀市議会
議長 松永 幹哉 様